

Deathカフェ 及び 僧シャル Lab. ワカゾー

▶担当 霍野廣由 (つるのこうゆう) ▶電話 090-3412-7556
▶メール koyu0407@gmail.com

事業目的・背景

私たちワカゾーは、お寺が地域・社会の課題解決に参画する、あるいは、お寺と地域活動やNPOとの協働を促すことを目的として活動しています。

お寺の地域周辺は健康長寿、格差・貧困、防災など様々な課題が存在します。そのような現代社会のなかで、お寺が地域のNPOや活動と協働し、地域の課題解決や社会問題に貢献することを目指しています。

事業概要

死することに対する不安や苦悩を語り、他者の意見を聞くことを通して、クオリティ・オブ・ライフ(QOL)を高め、精神的な充足感を覚えることを目指す、Deathカフェの開催。ならびに、お寺を舞台に、市民・企業・NPO・大学などの多種多様な組織や個人が、社会的課題の解決に挑戦するべくその可能性や方法を考える、僧侶シャルLabの開催。

活動期間

宗教都市・京都で、全国のお寺に波及するロールモデルをつくるべく、私たちワカゾーは活動しています。仏教各宗派の若手僧侶が宗派を越えて、お寺の活用を中心としながら、2015年より活動をはじめました。具体的には、死について気軽に語らう「Deathカフェ」の企画運営、地域活動・NPOがお寺を活用したイベントのマッチング・コーディネートを行なってきました。

成果

今年度はDeathカフェを合計7回(下京区は3回)開催しました。新たな試みとして、ゲストを複数人迎えたDeathカフェのスピンオフ企画「Deathトーク」を開催しました。2020年3月に1度開催予定でしたが、新型コロナウイルスの影響により中止としました。

またDeathカフェが全国各地で開催されることを願って、ワークショップツール『死生観光トランプ』を作成しました。

僧シャルLab.は、2020年2月と3月に開催の企画を進めていましたが、新型コロナウイルスの影響により全回中止としました。

今後の予定

今後はDeathカフェを定期的開催するとともに、ワークショップツール『死生観光トランプ』の普及啓発に努めます。また、京都女子大学の吉川直人先生と協力して、全国でDeathカフェを行なう団体が一堂に会する「DeathCafeサミット」を京都で行います。さらに、DeathCafeに関する書籍を発刊する予定です。

今年度は開催することができなかった僧シャルLab.については、仏教総合誌『大法輪』のなかで「お寺のソーシャルデザイン」という連載を執筆するフリーライターの杉本恭子さんと協力して定期開催します。



Deathトークの様子。3人のいのちの現場に関わる方達を迎えて「生きる／死ぬ」について考えました。



京都女子大学での講義の様子。吉川直人先生からの依頼を受けて、ワカゾーの活動について紹介し、福祉の現場でのお寺の活用やDeathカフェの展開について考えました。



メンバーの霍野が、ソーシャル坊主として、コミュニティFMラジオ「FM87.0 RADIO MIX KYOTO(ラジオミックス京都)」にて、月に一度ラジオ番組を担当することになりました。